

令和4年度 枝幸町立枝幸小学校 小中連携した学力向上プラン

現 状 分 析

◆小学校の課題と方策

- ◎児童一人一人にふさわしい学習環境と 協働的な学びを保障し 将来必要な資質・能力を確実に身に付けさせる。

そのためには、

- 適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を着実に進める。
- 各種調査やテスト、児童による授業評価等を基に組織的に授業改善を進める。
- 学校力として、学習の基盤となる学習規律（重点：人の話をしっかり聞く）の徹底を図る。
- 早期発見・早期療育の考えに基づく、特別支援教育の充実及び校内委員会の機能化を図る。
- 不登校児童への計画的・組織的な対応を推進する。
- 児童一人一人の教育的ニーズに応じて将来を見据えた適切な学級編制を行う。

◆中学校の実態と課題

…CRT・全国学力学習状況調査(自校採点)・S・Cテストより…

- 学習への興味・関心・意欲が低く、基礎的・基本的な力が未定着な生徒が多い。
- 文章を構成することや考えを表現(説明・書く)することに課題がある。
- 自己肯定感や長期的な夢や希望をもてていない。
- 自主的・計画的に学習する習慣が薄い。メディアコントロールも不十分。

◎基礎・基本の定着と思考力・表現力の向上

- 「考える」ための素地（基礎的・基本的な知識・技能）を確実に身につけさせる。(できた実感がもてる学習活動(授業)の推進)
- 自分の考えをもち、自分の言葉で表現する力を育む。(考える時間・場の設定。表現する機会の充実)
- キャリア教育の充実による一人一人の将来の自己実現に向けた教育活動を展開する。(キャリア教育推進計画の改善・充実)

小中連携で改善できること

- 「えさしっ子」の9年間の成長を見通した小中連携を強固にすることにより、各小中学校は自信をもって教育活動を推進し、児童一人一人に必要な資質・能力を身に付けさせることができる。さらに、その過程においては、地域・保護者との協働の意識が一層高まり、地域創生の一助とすることができる。

具 体 的 取 組

◎中1ギャップ問題未然防止事業の取組を通して、本校の教育の質の向上を図る。

- 枝小一校中間の情報交流を定例化し、双方にとって緊急度・重要度の高い課題を絞り込み、具体的な取組を推進する。

□学校経営計画 □教育課程 □各校の重点課題 □児童生徒情報 □感染症対策

□学びを止めない・心を近づける教育活動の工夫 □各種調査やテスト等の状況

□子ども理解支援ツール「ほっと」の実施 □学校環境適応感尺度「アセス」の実施 □不登校対策(支援シートの共有化)

□9年間で育成する資質・能力の共通重点目標 □働き方改革 □ICTの活用(学習支援、多様な教育相談)

□「えさしっ子の未来を拓く十か条」の更新 □特別支援教育 □学習評価

□各学年・各教科の授業の様子 □学習規律 □授業参観交流

□乗り入れ授業(小学校教科担任制、英語教育、新体力テスト) □教科間実践交流